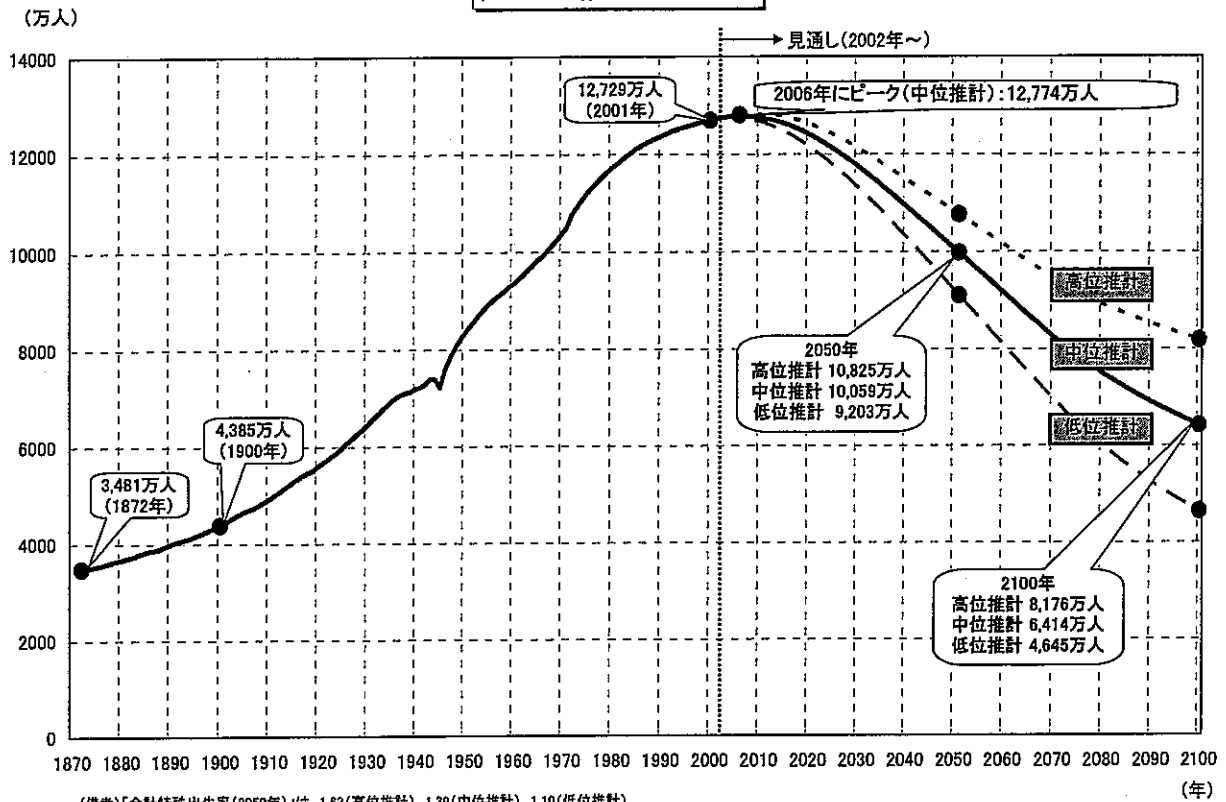
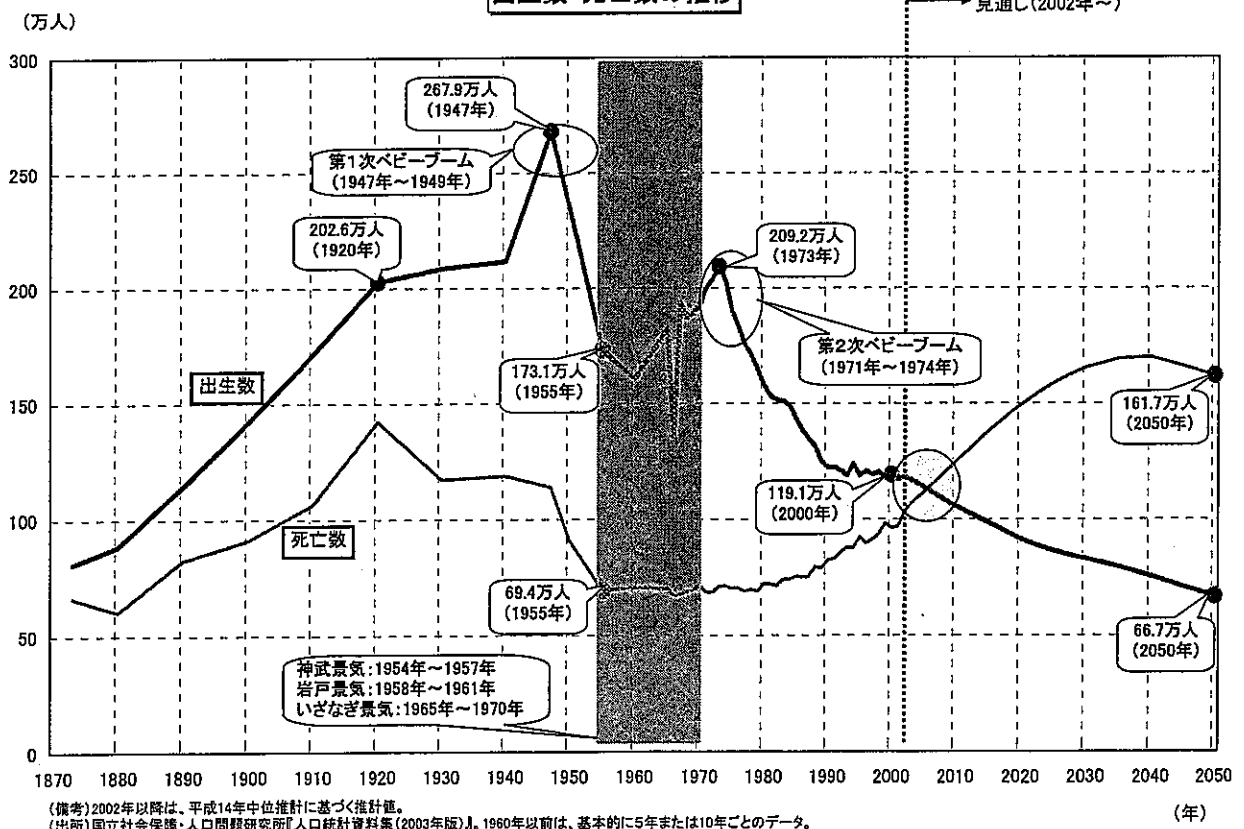


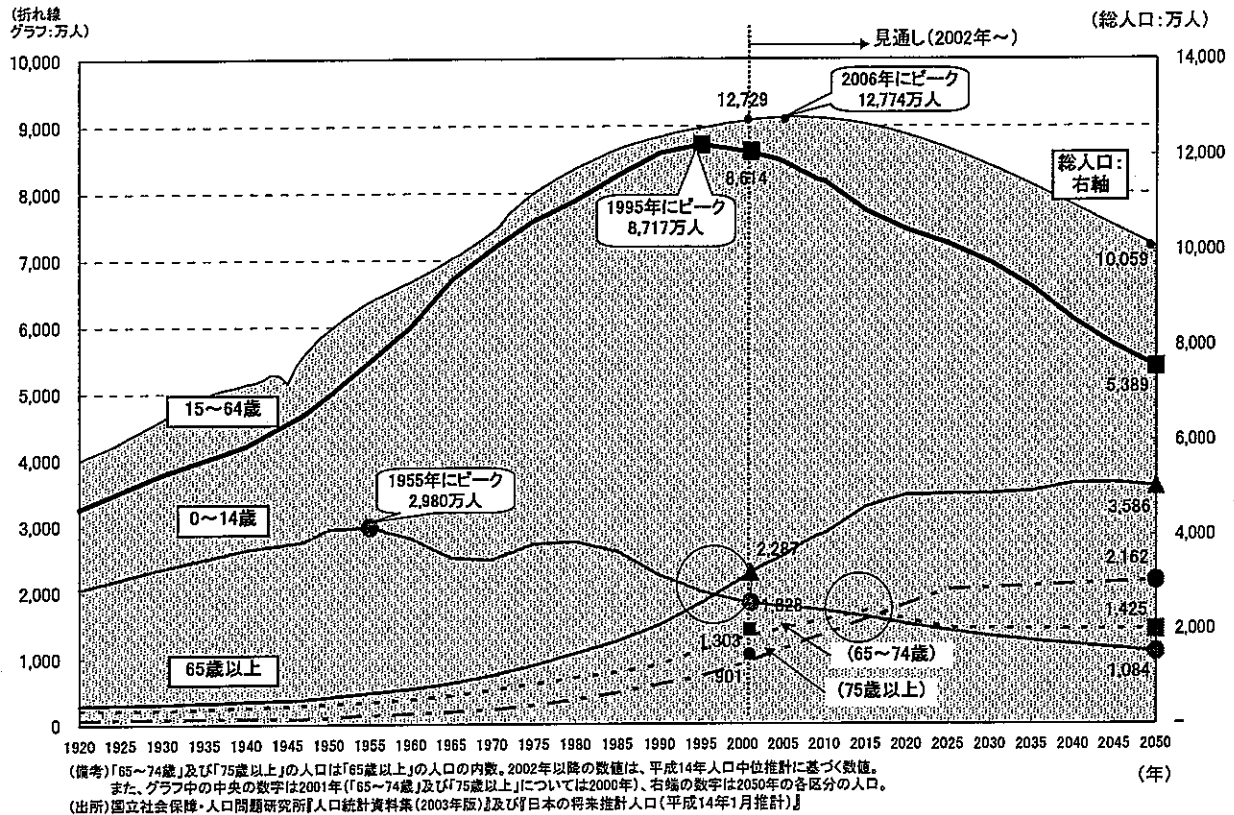
総人口の推移(明治以降)



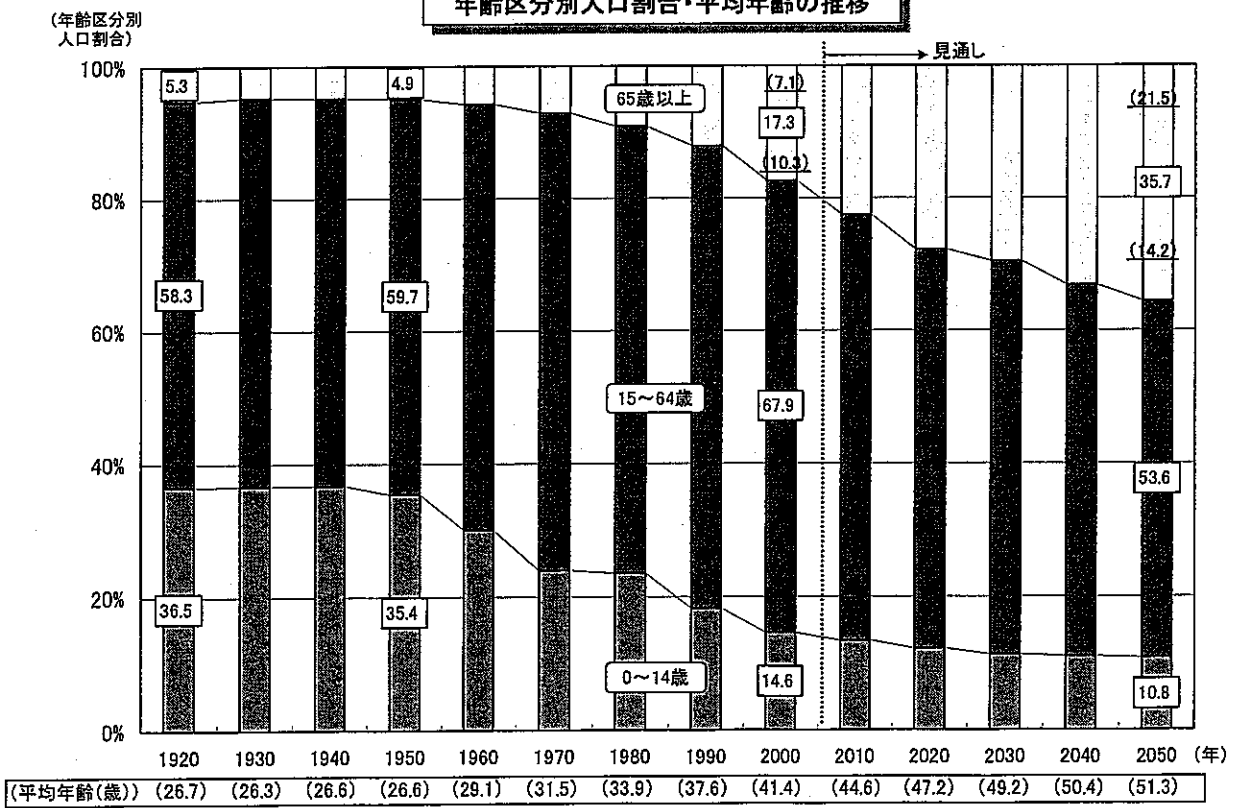
出生数・死亡数の推移



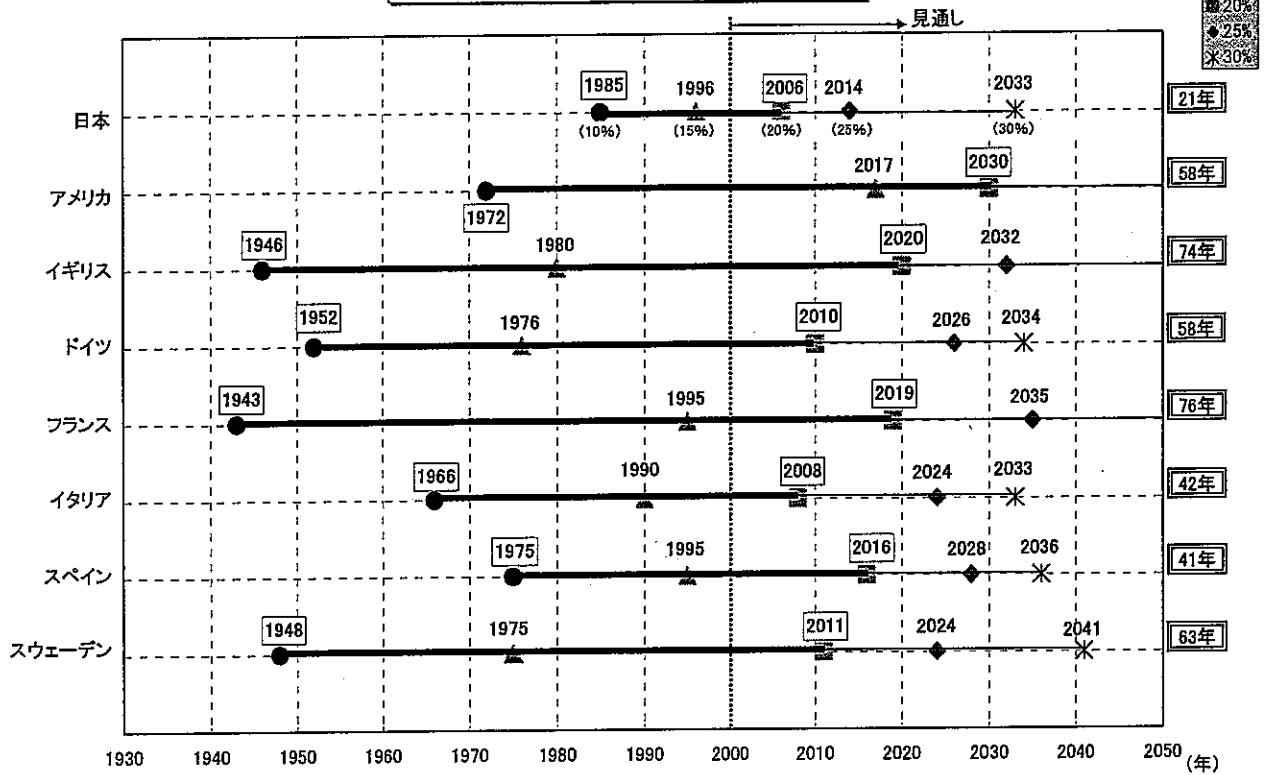
年齢区分別人口の推移



年齢区分別人口割合・平均年齢の推移

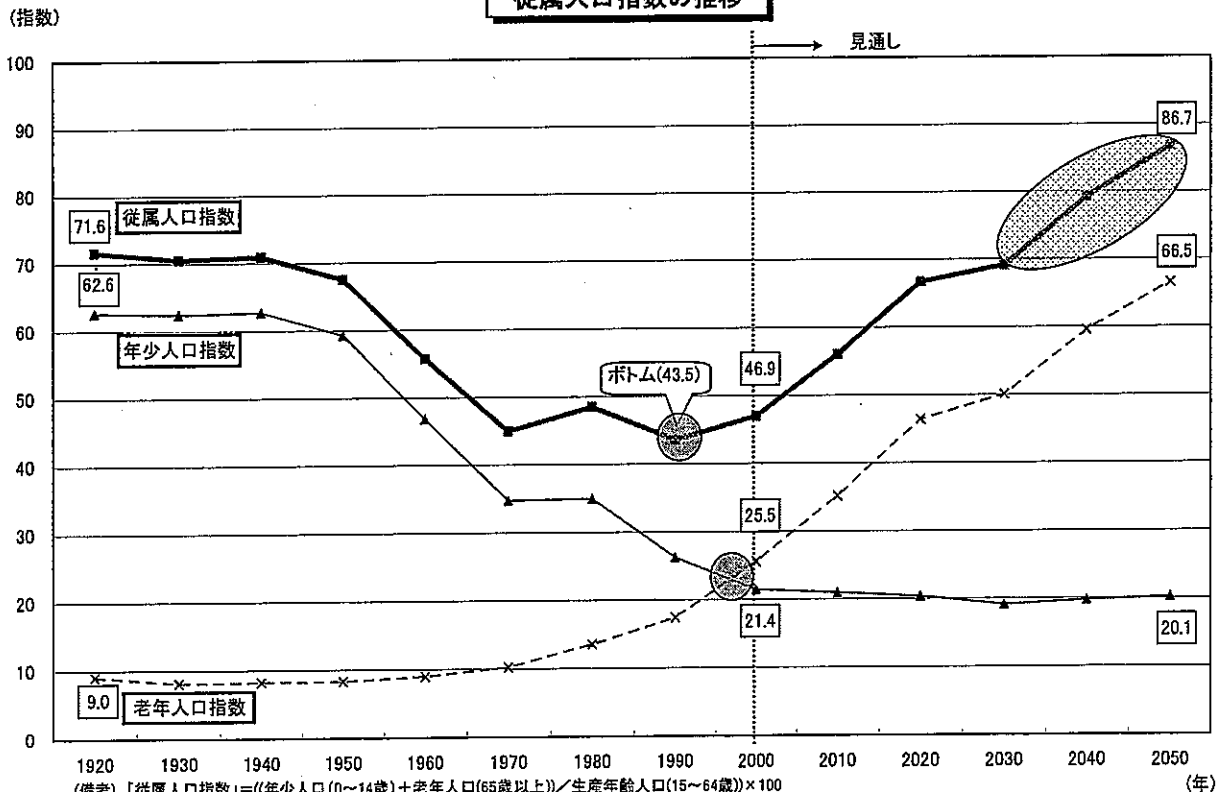


主要国の65歳以上人口割合別の到達年次



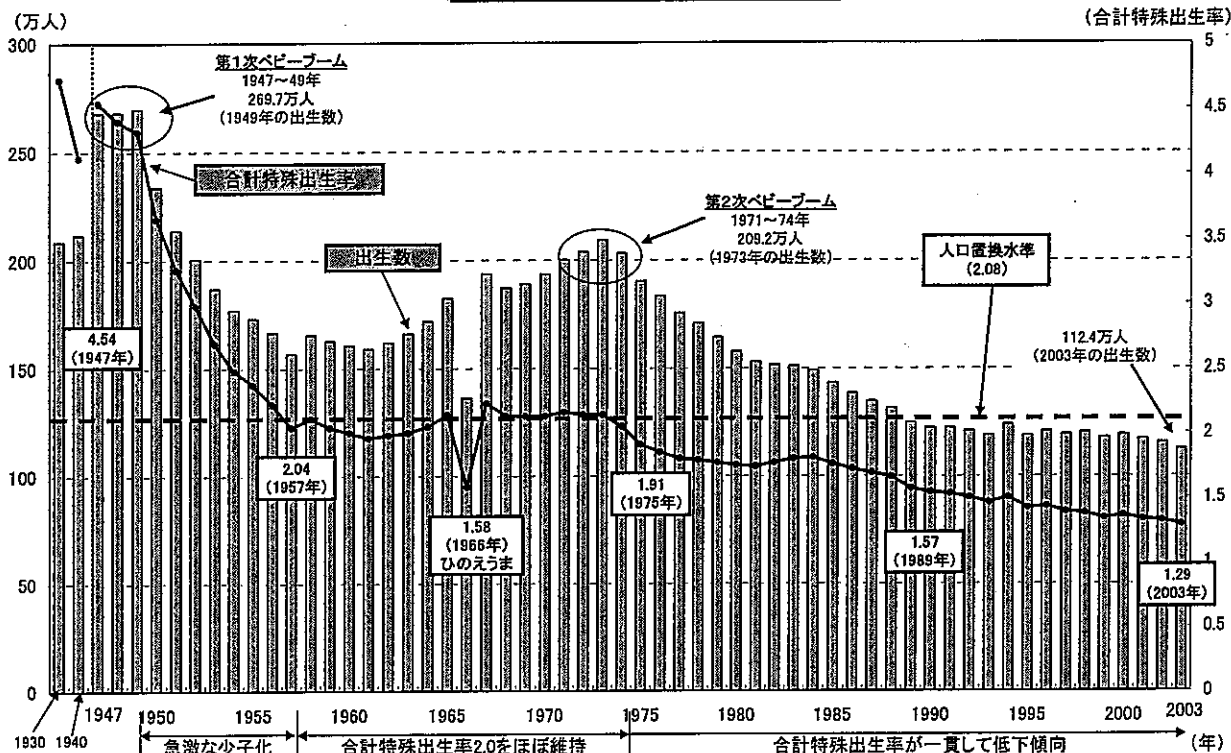
(備考) 四角で囲んだ数値は、各国において、65歳以上人口の割合が10%及び20%になった年次。欄外の二重四角で囲んだ数値は10%から20%に倍化するのに要した年数。
 (出所) 国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集(2003年版)』

従属人口指数の推移



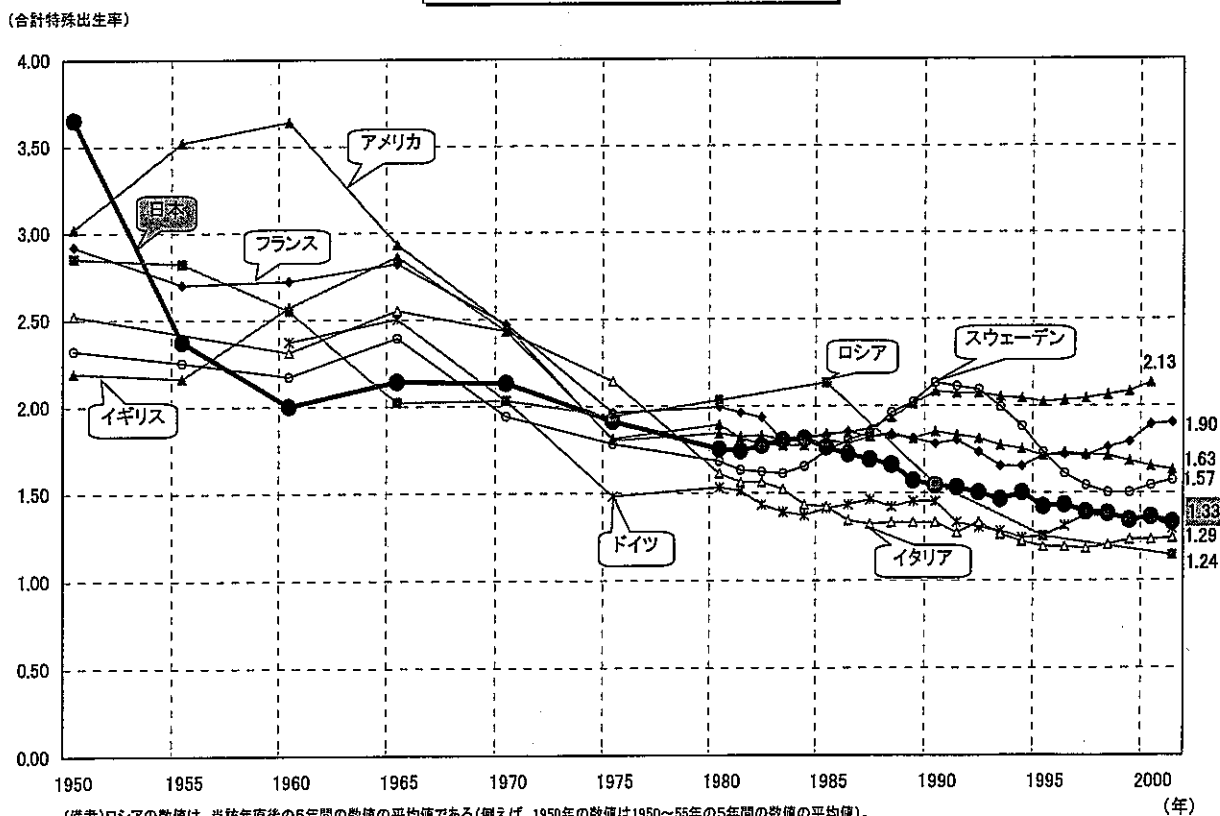
(備考) 「従属人口指数」= (年少人口(0~14歳) + 老年人口(65歳以上)) / 生産年齢人口(15~64歳) × 100
 「年少(従属)人口指数」= (年少人口 / 生産年齢人口) × 100
 「老年(従属)人口指数」= (老年人口 / 生産年齢人口) × 100
 (出所) 国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集(2003年版)』

出生数及び合計特殊出生率の推移



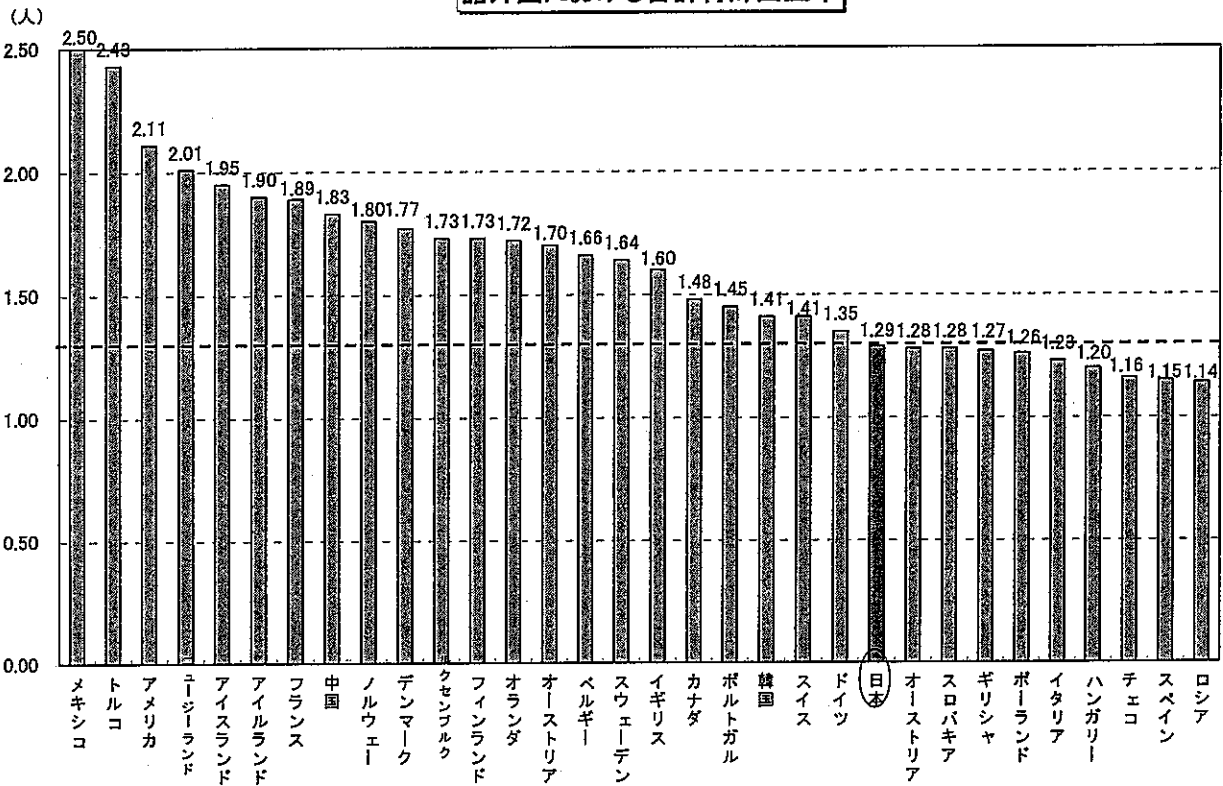
(備考)「合計特殊出生率」とは、15~49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率のパターンで一生涯の間に変わらなした時の子供数に相当する。
 「人口置換水準」とは、母親世代の女性が等しい数の娘世代の女性を産み残す水準であり、人口規模を維持するのに必要な水準(2.08程度)。
 (出所)国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2003年版)」及び厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」平成15年人口動態統計月報年計(概数)の概況

主要先進国の合計特殊出生率の推移



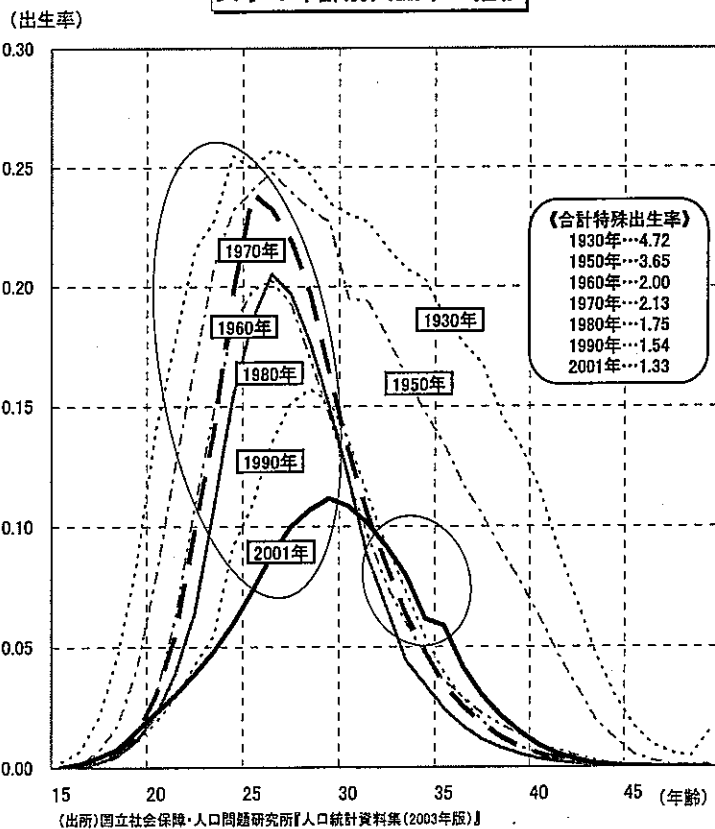
(備考)ロシアの数値は、当該年直後の5年間の数値の平均値である(例えば、1950年の数値は1950~55年間の数値の平均値)。
 (出所)国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2003年版)」及び国際連合「World Population Prospects: The 2002 Revision」

諸外国における合計特殊出生率



(備考) 日本の計数は2003年、諸外国の計数は2000~2005年の期間について掲載した。なお、香港は1.00、台湾は1.17である(香港は『世界人口白書2003』、台湾は『Taiwan Statistical Data Book 2002』による)。
 (出所) 日本:厚生労働省大臣官房統計情報部「平成15年人口動態統計月報年計(概数)の概況」 諸外国:国連人口基金「世界人口白書2003」

女子の年齢別出生率の推移



(参考) 主要国女子の年齢別出生率(最新年次)

